

顧客指定の「梱包仕様」 大画面モニタに表示、確認容易に 可視化で作業効率改善

根津鋼材

コイルセンター（CC）ではレベラーカットシート製品やスリットフープ製品を出荷する際に必ず梱包するが、その梱包仕様は顧客指定によって千差万別。

顧客は荷卸し方法や保管方法、使用するまでの期間などを考慮して梱包仕様を定め、CCに依頼する。従って、中身が同じでも納入場所が異なると仕様がかわ

ることもしばしば。顧客の暮里、社長・根津訓光氏）包イメージ図も表示してある。

数が多ければ梱包仕様も「何万通り」に及ぶ。日々納期対応に追われる現場にとって作業は煩雑だ。面映し出し、バンド仕様やスキッド形状など項目別に簡潔に表示するとともに梱包作業場からも梱包仕様の寸法・精度・ロットと同様「客先製品仕様」の重

要要素の一部。どんなに「繁忙」でもヒューマンエラーは許されない。鋼団地内）の大型レベラーラインのパイラー上に、50

この問題を解決するたこのモニタ画面を左右に2台セット。画面には「バン

（本社・東京都荒川区東日ド仕様」「外装仕様」「スキッド材質」「スキッド形状」「機能桁の有無」「その他特記事項」の項目ごとに必要な情報を記し、その横には梱

ッド材質」「スキッド形状」「機能桁の有無」「その他特記事項」の項目ごとに必要な情報を記し、その横には梱

ッド材質」「スキッド形状」「機能桁の有無」「その他特記事項」の項目ごとに必要な情報を記し、その横には梱

ッド材質」「スキッド形状」「機能桁の有無」「その他特記事項」の項目ごとに必要な情報を記し、その横には梱

ッド材質」「スキッド形状」「機能桁の有無」「その他特記事項」の項目ごとに必要な情報を記し、その横には梱



大型モニタ画面（左上）を確認しながら梱包作業、写真下は画面の拡大

これを踏まえ、同社では他ライン、他拠点へも段階的に水平展開することで顧客満足度向上につなげていく考え。フープ梱包についても準備を進めている。

▼4面「鉄鋼関連・流通加工」版に関連記事

加工」版に関連記事